

小学校区を構成する町丁目	横山、桜田、所、浅間、村田、大沼、東ノ台、南敷、馬乗里、堀籠
--------------	--------------------------------

		小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	
面積		11.65 (km ²)	213.84 (km ²)	5.45 (%)	
人口・家屋の分布状況	人口	2,382 (人)	132,404 (人)	1.80 (%)	
	人口密度	204.53 (人/km ²)	619.17 (人/km ²)	—	
	男女別人口	男	1,217 (人)	66,487 (人)	1.83 (%)
		女	1,166 (人)	65,917 (人)	1.77 (%)
	世帯数	720 (世帯)	27,819 (世帯)	2.59 (%)	
	0歳以上～15歳未満	900 (人)	59,910 (人)	1.50 (%)	
	15歳以上～65歳未満	252 (人)	18,647 (人)	1.35 (%)	
	65歳以上～	1,410 (人)	85,938 (人)	1.64 (%)	
	65歳以上の独居者	12 (人)	1,107 (人)	1.13 (%)	
	避難行動要支援者	57 (人)	2,279 (人)	2.48 (%)	
外国人居住者	38 (人)	3,977 (人)	0.94 (%)		
建物分布状況	建物棟数	2,339 (棟)	56,677 (棟)	4.13 (%)	
	木造(S55以前)	806 (棟)	13,866 (棟)	5.81 (%)	
	木造(S56以降)	1,137 (棟)	29,933 (棟)	3.80 (%)	
	RC・SRC造	41 (棟)	2,236 (棟)	1.82 (%)	
	S造	296 (棟)	9,453 (棟)	3.13 (%)	
	その他	60 (棟)	1,189 (棟)	5.03 (%)	
密集度	200.78 (棟/km ²)	265.04 (棟/km ²)	—		

自主防災組織結成状況	組織数	1	世帯数	46	結成率	0.06 (%)
------------	-----	---	-----	----	-----	----------

防災関連施設	消防本部・消防署・分署	—				
	消防団	第10分団第4部、第10分団第5部、第10分団第6部				
	警察署・交番・駐在所	—				
	市役所・支所・事務所・集会所等	—				
	種類	箇所数	種別	箇所数	種別	箇所数
	防災井戸	1	給水栓	0	給水拠点	0
	防災倉庫	0	資材置場	0	水防倉庫	0
	消防団器具庫	3	AED設置施設	2	災害拠点病院	0
	病院・診療所	1	歯科医院	0	福祉施設	7
	保育所・幼稚園等	0	水位観測所	0	雨量観測所	0
防災行政無線屋外子局	5	ヘリコプター臨時離着場	0	ドクターヘリ臨時離着場	1	
震度計	0	郵便局	0	公園	2	

避難施設	種類				施設名称	収容人数(人)	
	指定緊急避難場所	指定避難所	自主避難所	福祉避難所		指定緊急避難場所	指定避難所
●	●				桜田小学校	957	228
			●		有楽苑	—	—
			●		透光苑	—	—
収容人数合計						957	228

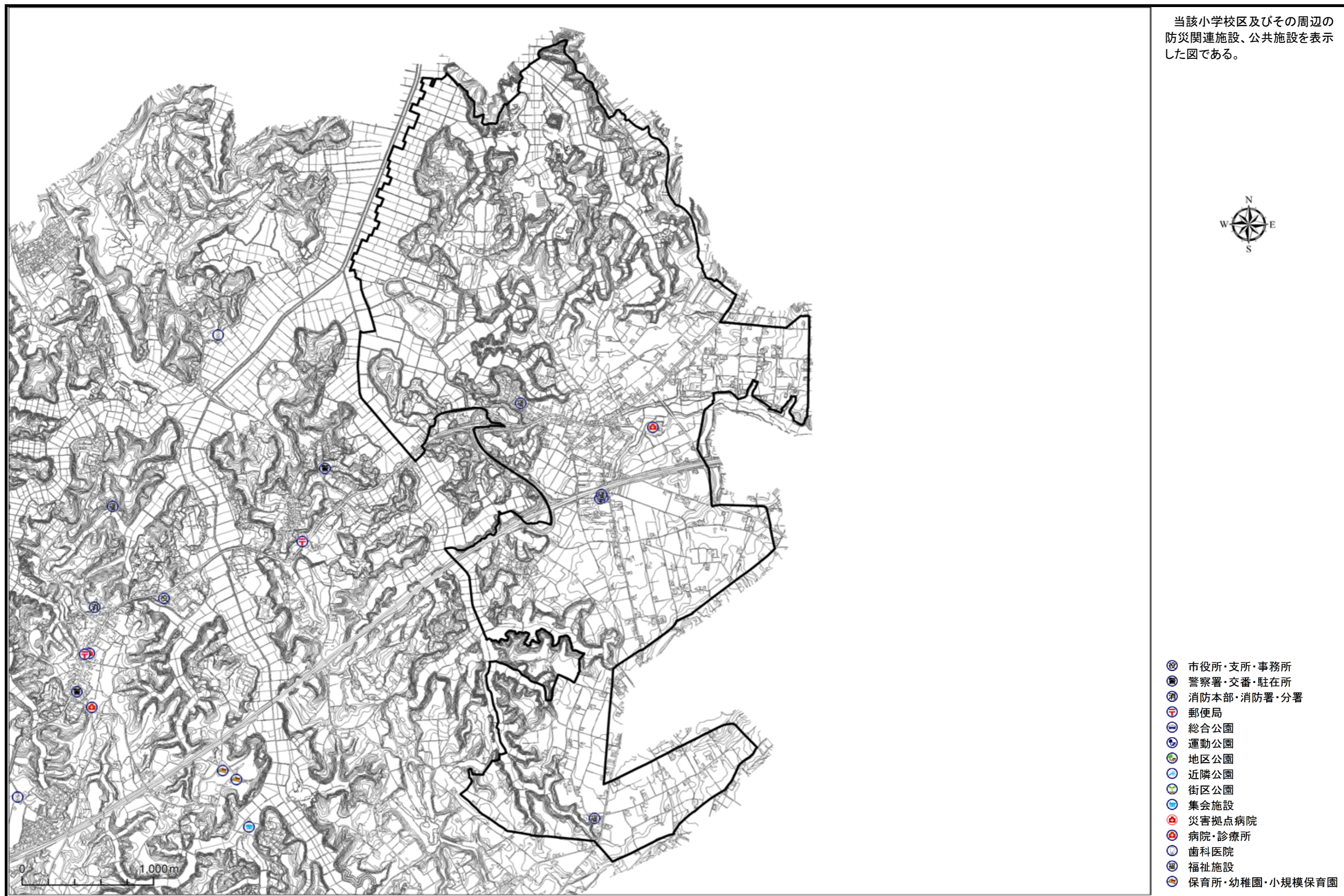
洪水被害想定	利根川浸水想定区域			根木名川浸水想定区域		
	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)
浸水面積(km ²)	0.57	38.43	1.50 %	0.00	16.17	0.00 %
浸水する建物数(棟)	3	5,565	0.05 %	0	1,428	0.00 %
避難の対象者数(人)	4	6,025	0.07 %	0	2,238	0.00 %

土砂災害被害想定	箇所数(箇所・地区)		重なる面積(ha)		重なる建物数(棟)		避難の対象者数(人)	
	I	II	III	うち特別警戒区域	山腹崩壊危険地区			
急傾斜地崩壊危険箇所	3	9	0	33	33	162	117	
土砂災害警戒区域				33	33.58	231	175	
うち特別警戒区域				33	11.17	79	66	
山腹崩壊危険地区				3	0.16	2	3	

地震被害想定結果	震度階級					液状化危険度			
	5弱	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL
面積(km ²)	0.00	0.00	11.63	0.01	0.00	9.12	2.53	0.00	0.00
建物被害(棟, 出火件数のみ件)					人的被害(人)				
小学校区(a)					小学校区(a)				
市全体合計(b)					市全体合計(b)				
割合(a/b)					割合(a/b)				
木造 全壊	95	1,779	5.33 %	死者数	1	16	4.57 %		
木造 半壊	303	5,752	5.26 %	負傷者数	79	1,471	5.35 %		
非木造 全壊	13	300	4.23 %	重傷者数	11	198	5.39 %		
非木造 半壊	8	232	3.31 %	軽傷者数	68	1,273	5.34 %		
出火件数	0	5	2.84 %	要救助者数	1	66	1.97 %		
焼失棟数	0	17	2.74 %	避難者数	598	18,189	3.29 %		
上水道断水人口(人)					下水道支障人口(人)				
小学校区(a)					小学校区(a)				
市全体合計(b)					市全体合計(b)				
割合(a/b)					割合(a/b)				
断水人口	3,048	37,668	8.09 %	支障人口	31	3,341	0.93 %		

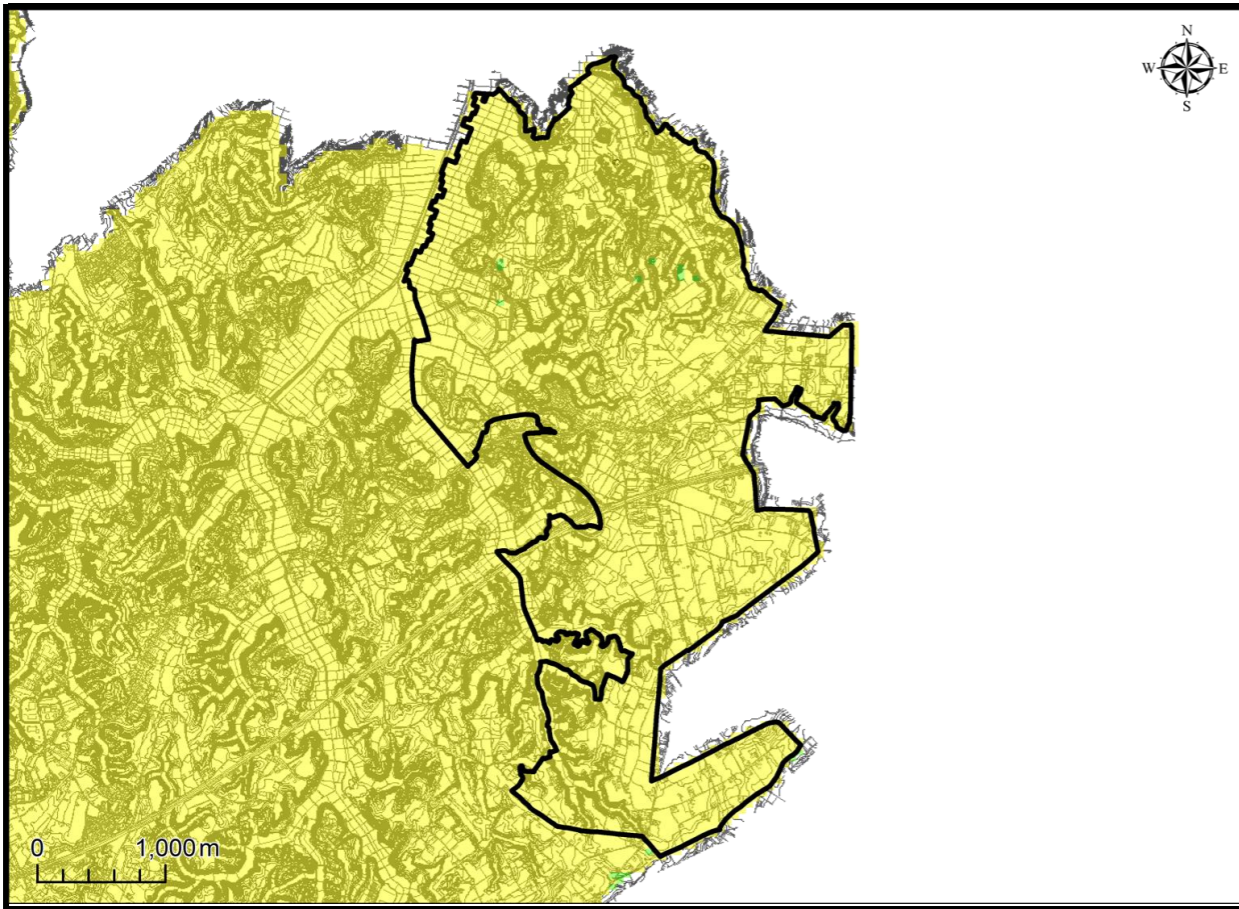




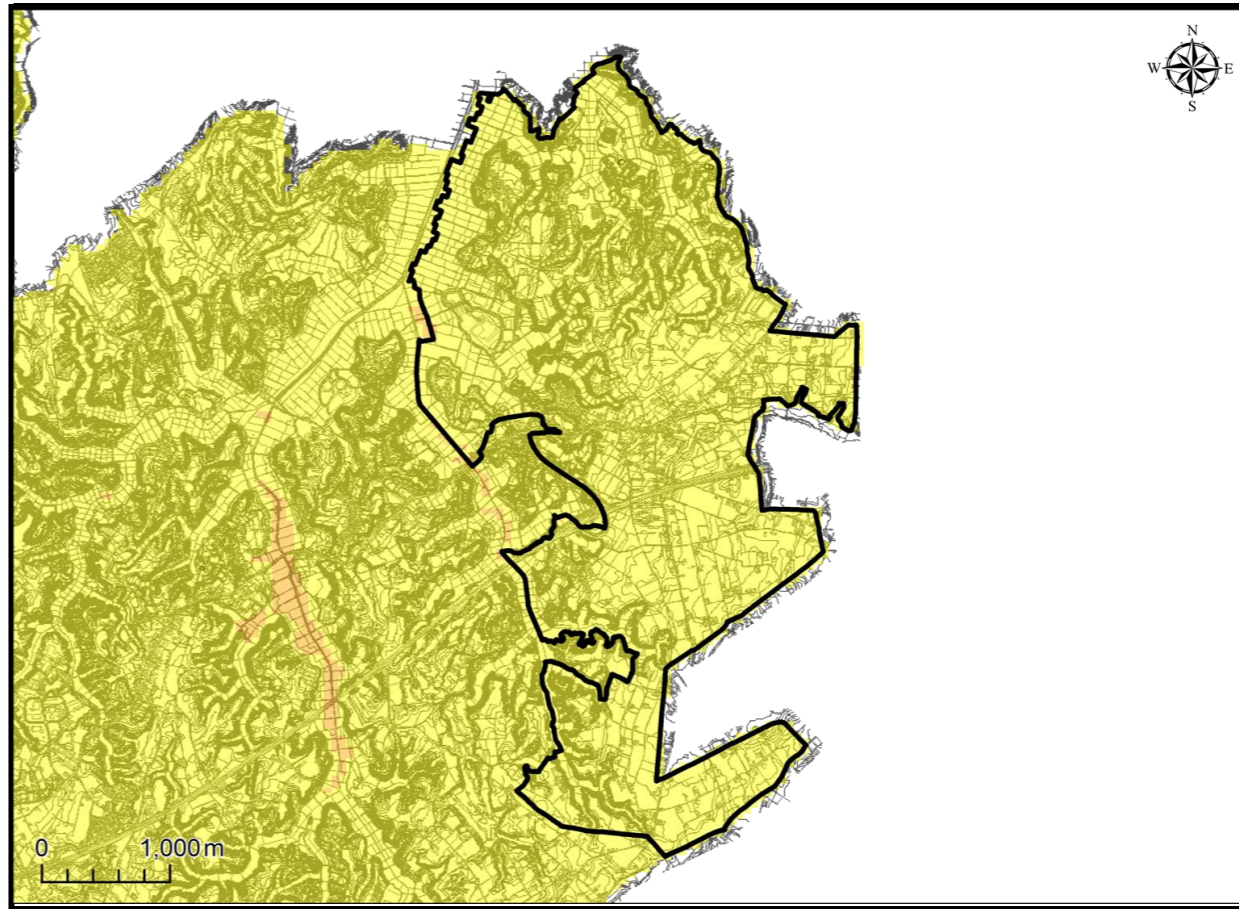




●想定震度階級 (A. 千葉県北西部直下地震)



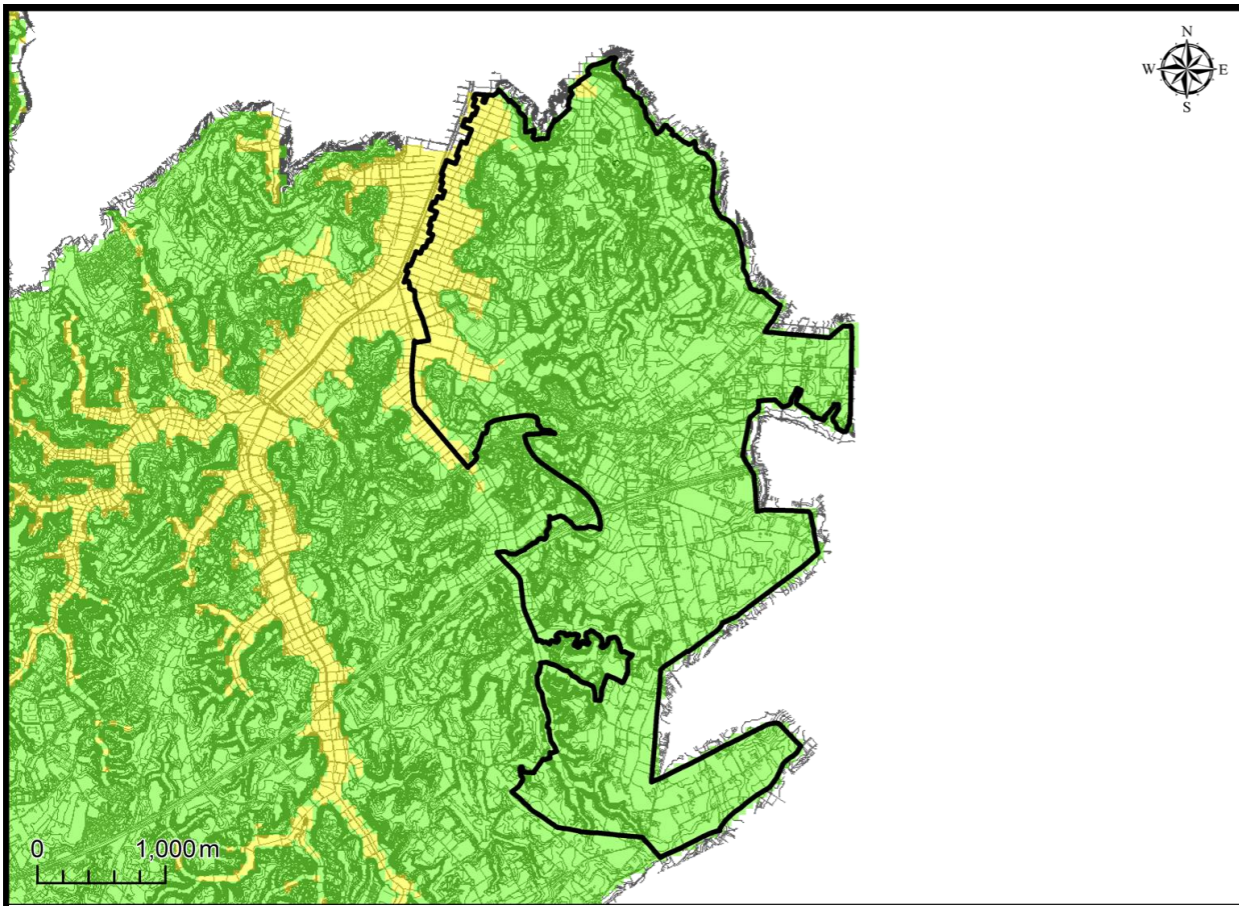
●想定震度階級 (B. 成田空港直下地震)



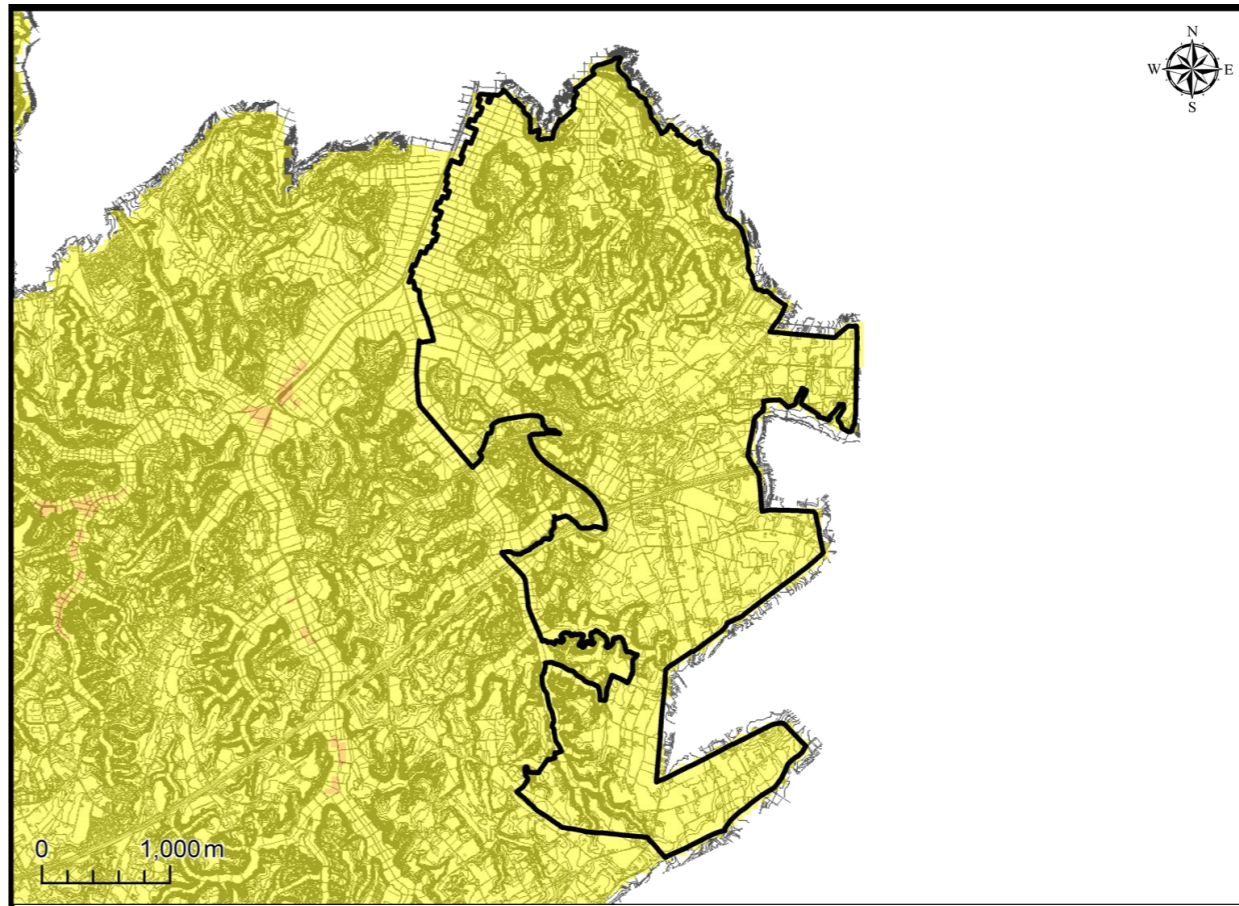
当該小学校区の震度階級を、想定地震別に50mメッシュで表示した図である。

なお、震度は、地盤条件、地震の規模(マグニチュード)や震源の深さ、震源からの距離等によって異なる。このため、相対的なゆれの強さは地震によって異なる。

●想定震度階級 (C. 茨城県南部地震)

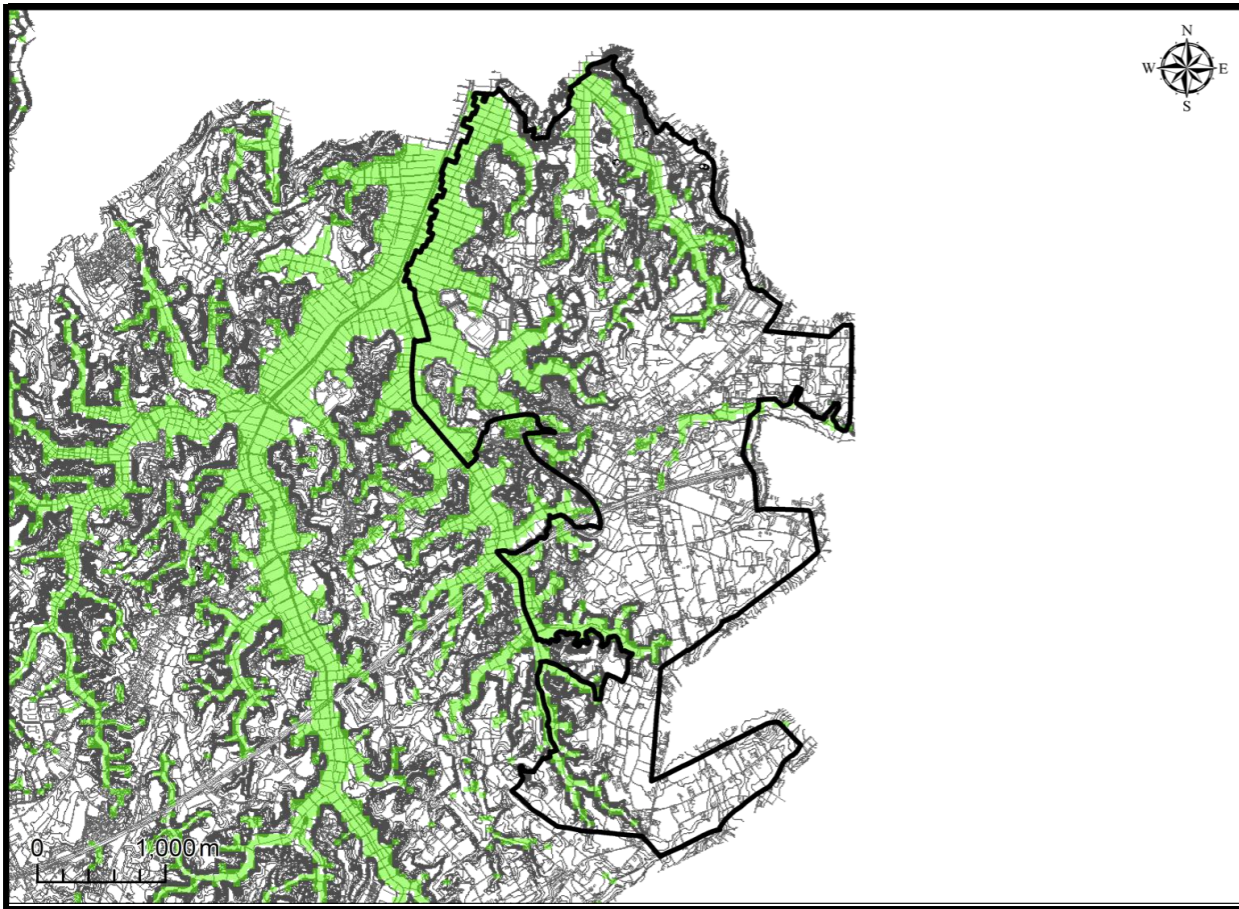


●想定震度階級 (D. 成田市直下地震)

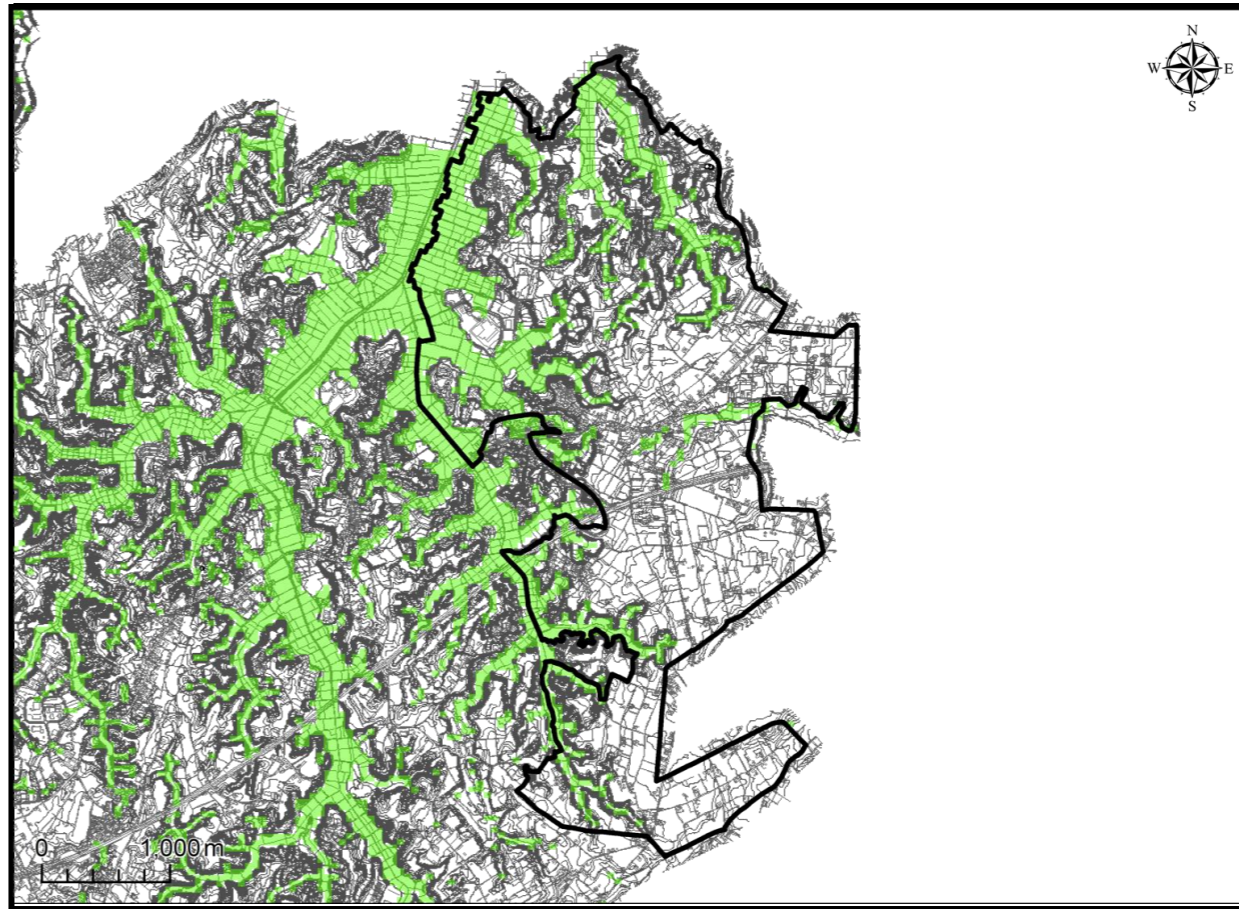


- 凡例
- 震度階級
- 5強
 - 6弱
 - 6強
 - 7

●想定液状化危険度 (A. 千葉県北西部直下地震)

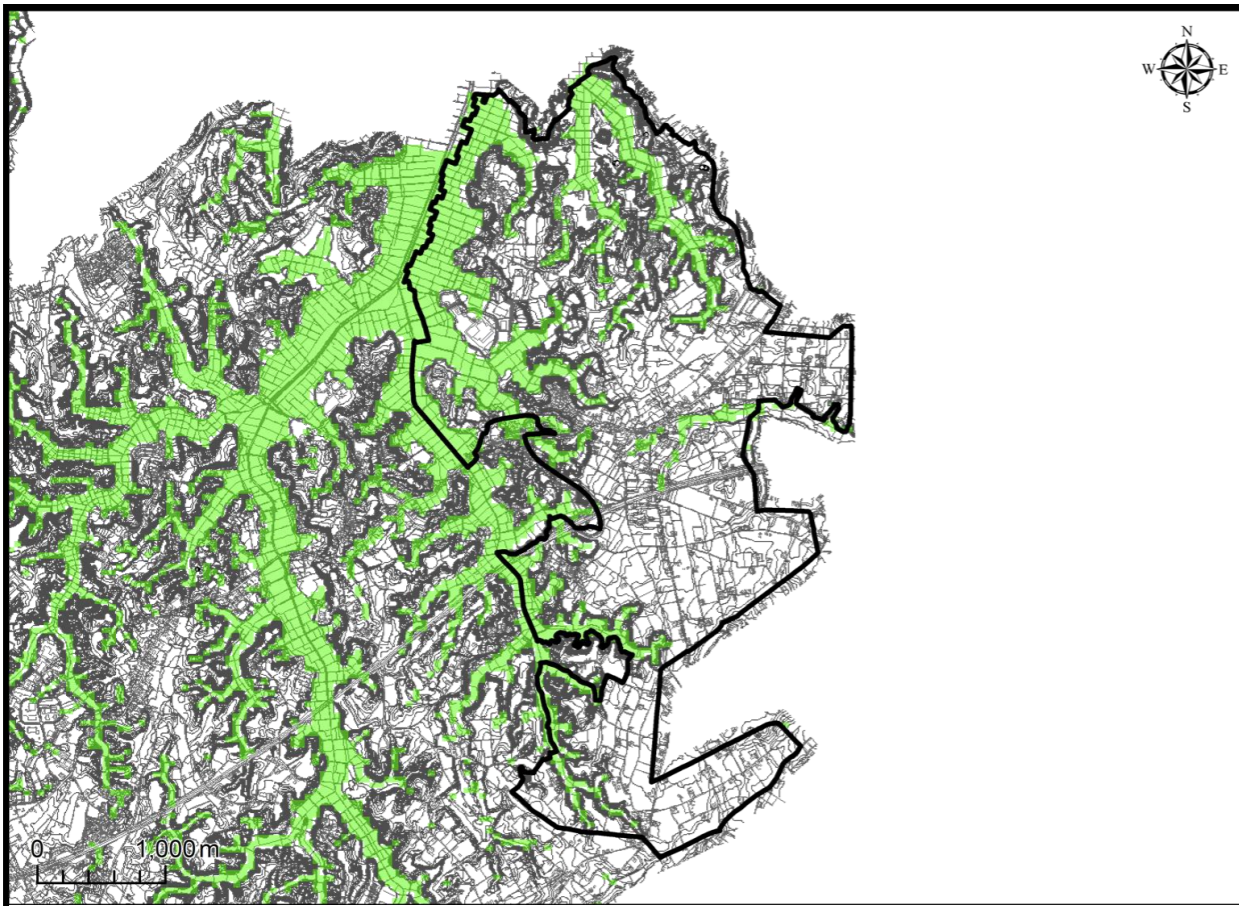


●想定液状化危険度 (B. 成田空港直下地震)

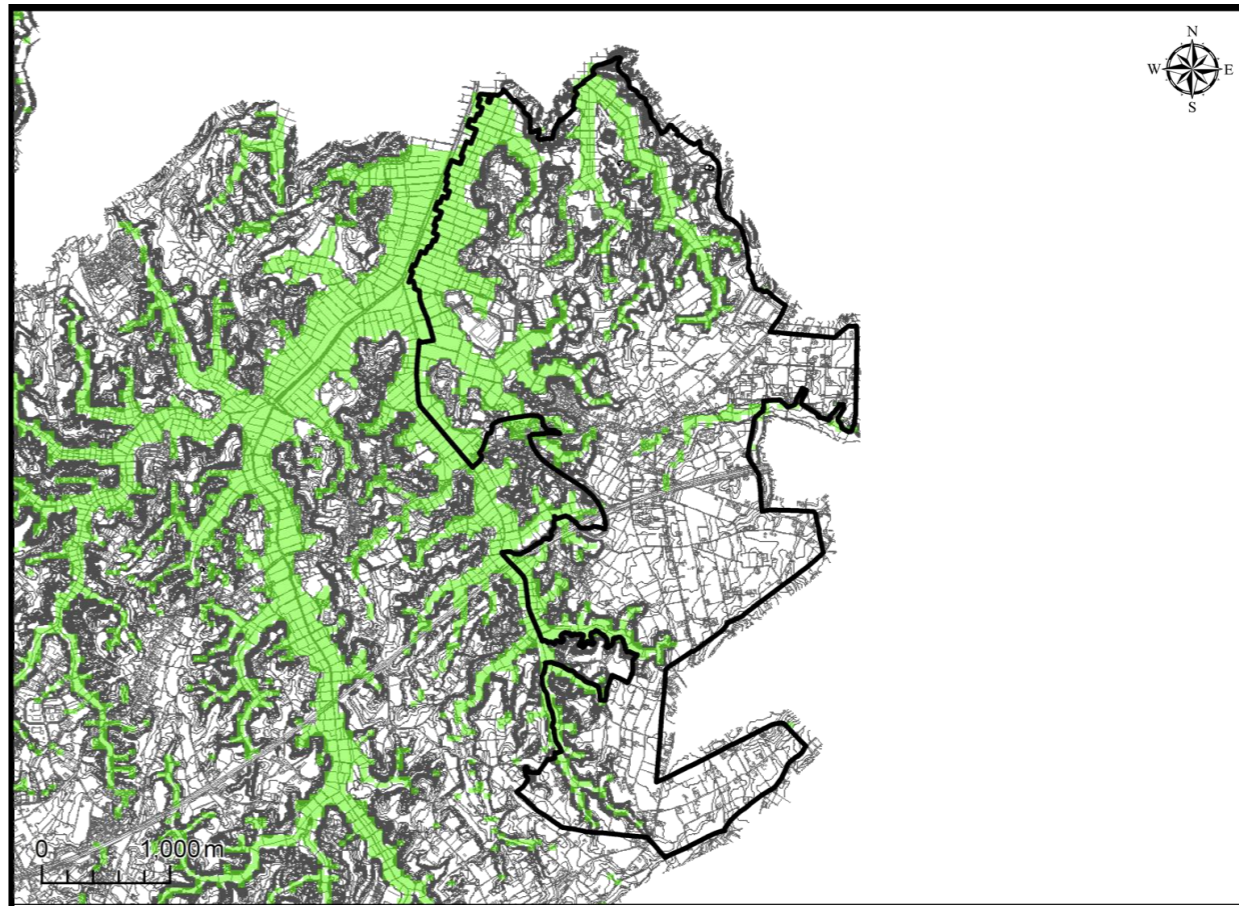


当該小学校区の液状化危険度を、想定地震別に50mメッシュで表示した図である。PL値が大きいほど、液状化危険度は高い。

●想定液状化危険度 (C. 茨城県南部地震)



●想定液状化危険度 (D. 成田市直下地震)



- 凡例
- PL値
- 15 < PL
 - 5 < PL ≤ 15
 - 0 < PL ≤ 5
 - PL = 0



